

生物科学学会連合 第20回連絡会議 議事録

日時：2008年2月15日（金）13:00～16:00
場所：東京大学 山上会館 201・202 会議室

出席：浅島 誠（生科連 2007-2008 年度代表・日本動物学会）
宮島 篤（生科連 2007-2008 年度副代表・日本生化学会）
奥野 誠（日本宇宙生物科学会） 水島 昇（日本細胞生物学会）
小関 良宏（日本植物学会） 中村 研三（日本植物生理学会）
橋本 哲男（日本進化学会） 村上 富士夫（日本神経科学学会）
嶋田 正和（日本生態学会） 嶋貝 太郎（日本生物教育学会）
木寺 詔紀（日本生物物理学会） 小西 真人（日本生理学会）
漆原 秀子（日本発生生物学会） 小泉 修（日本比較生理生化学会）
朴 民根（日本比較内分泌学会） 加藤 憲二（日本微生物生態学会）
福田 博（日本分子生物学会） 三宅 健介（日本免疫学会）
松木 則夫（日本薬理学会）

（計 19 学会 19 名）

欠席：事務局：中西 秀彦 山口 恵子（事務局）
日本遺伝学会 日本解剖学会 日本神経化学会

（計 3 学会）

（敬称略、学会名五十音順）

議長：浅島 誠

・本連絡会議は本年度第一回目の定例連絡会議に相当するため、「運営に関する申し合わせ事項」第3条により本連絡会議は成立した。なお、2/3以上の会員の出席が確認されたため、同申し合わせ事項の付則2により、本連絡会議における満場一致の議決事項については生科連の決定事項として採用される。

議題：

1) 前回議事録の承認

前回議事録案が確認され、承認された。

2) 平成 19 年度会計報告

事務局より報告が行われ、承認された。

3) 事務局移転について

事務局を設置している中西印刷株式会社東京事務所の移転に伴い、事務局の移転について事後承認された。

4) 国際生物学オリンピック (IBO2009) について

浅島代表および嶋貝委員より開催資金の募金状況について説明がなされた。また、団体からの寄付に加え学会員個人にも広く寄付を募るべく、IBO から加盟の諸学会に対して協力依頼がなされた。年度切替で生科連の連絡委員が交代した学会もあるので、IBO の事業内容やこれまでの経緯などの説明のため、後日 IBO から生科連加盟の各学会の事務局宛に IBO の案内パンフレットを送付していただくこととなった。

5) 「生物学年」宣言について

生物学の分野全体の機運を盛り上げ、活性化を図るため、生科連が 2009 年を「生物学年」として主唱することが前回連絡会議で承認されている。今回はその具体的な構想に

ついて浅島代表より提案がなされた。

- ・「生物学年」のためのイベントを一から企画・準備・開催するのは諸学会の負担が大きすぎ実現困難なため、加盟学会のそれぞれの学術大会で企画された市民講演会やワークショップなどに、たとえば『「生物学年」協賛イベント』等と標榜する。
- ・加盟学会の学術大会は様々な時期に行われるので、生科連では 2009 年に開催されるそれらを「生物学年」カレンダーの形でまとめ、加盟諸学会へ広く情報提供を行う形で周知協力する。
- ・ある学会で「生物学年」に連動するイベントを企画する際、当該学会本来の専門とは異なる分野の講師を招きたいという場合、生科連経由で学術会議に希望が出されれば、学術会議のネットワークを利用して講師派遣につなげることも可能。
- ・生科連を、こうした「生物学年」を主導する立場として位置づける。

これらの提案をふまえ、諸学会でそれぞれ「生物学年」の活用の仕方を検討することとなった。

6) 学協会と公益法人について

平成 20 年 12 月 1 日に施行される新しい公益法人制度に際し、内閣府の公益認定等委員会では認定ガイドラインの検討が進められている。諸学会では、学会誌刊行と学術集会開催が公益事業として認められるのか否かが目下の関心事となっている。こうした学術団体の公益性についての問題の他、今後の運営のあり方についても、多くの学会が岐路に立たされている。

学術会議では、学会の意見や要望をこの新しい制度に反映させるため、それらの意見・要望を集約して提示する意向がある旨、浅島代表より伝えられた。

提示の最も効果的な時期や、集約作業にかかる時間などから逆算して、学会からの意見や要望を 2008 年 3 月 20 日頃までに学術会議で入手したいとのこと。

7) 次期の生科連の代表について

次期の生科連代表について、浅島代表より宮島副代表が推薦され、承認された。また、申し合わせ事項に定めのある次期の副代表の選任については、宮島次期代表が場を改めて指名することが確認された。宮島次期代表より浅島代表に、代表就任後も引き続き前代表としての連絡会議出席と助言を求める依頼がなされた。

8) 生科連の今後の運営について（「生科連ニュース」（仮題）の刊行について）

生科連加盟の諸学会にとって有用の情報が低コストで得られる機能について、引き続き検討がなされた。まずは生科連ホームページの内容の充実と、そこでの情報収集・提供・連絡体制の拡充強化が諸学会より求められた。取り急ぎ生科連と加盟全学会との相互リンクが成立するよう、生科連事務局より加盟全学会宛に依頼とバナーの配布がなされることとなった。

9) 会費の件について

運営費（会費）を 1 学会あたり現行の 20,000 円から 30,000 円に値上げすることが提案され、承認された。これに伴い申し合わせ事項の付則 3 が一部改正されることとなった。

10) その他

- ・浅島代表より（特非）総合画像研究支援の組織と活動について紹介がなされた。生科連としては同団体の活動に賛同することが承認された。
- ・出席の諸学会より近況の報告がなされた。
- ・次回連絡会議は 2008 年 9 月 19 日（金）の予定。

以上